

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(298)(HP 収載) —イツァーク・パールマンのベートーヴェン—

1. 始めに

前報(297)に引き続き、STAGE+のイツァーク・パールマンの *Complete Recordings on Deutsche Grammophon & Decca* のアルバムの中からベートーヴェンの作品の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のイツァーク・パールマンの *Complete Recordings on Deutsche Grammophon & Decca* のアルバムの中からベートーヴェンの作品の演奏を選びました。

ソリスト:

イツァーク・パールマン（ヴァイオリン），ヴラディーミル・アシュケナージ（ピアノ）

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ長調 作品12の1

第1楽章: Allegro con brio

第2楽章: Tema con variazioni. Andante con moto

第3楽章: Rondo. Allegro

ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 作品96

第1楽章: Allegro moderato

第2楽章: Adagio espressivo

第3楽章: Scherzo. Allegro

第4楽章: Poco allegretto

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品12の2

第1楽章: Allegro vivace

第2楽章: Andante pi? tosto allegretto

第3楽章: Allegro piacevole

ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 作品47 《クロイツェル》

第1楽章: Adagio sostenuto ? Presto

第2楽章: Andante con variazioni

第3楽章: Finale. Presto

ヴァイオリン・ソナタ 第3番 変ホ長調 作品12の3

第1楽章: Allegro con spirito

第2楽章: Adagio con molt' espressione

第3楽章: Rondo. Allegro molto

ヴァイオリン・ソナタ 第8番 ト長調 作品30の3

第1楽章: Allegro assai

第2楽章: Tempo di minuetto, ma molto moderato e grazioso

第3楽章: Allegro vivace

ヴァイオリン・ソナタ 第4番 イ短調 作品23

第1楽章: Presto

第2楽章: Andante scherzoso, pi allegretto

第3楽章: Allegro molto

ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ハ長調 作品24《春》

第1楽章: Allegro

第2楽章: Adagio molto espressivo

第3楽章: Scherzo. Allegro molto

第4楽章: Rondo. Allegro ma non troppo

ヴァイオリン・ソナタ 第6番 イ長調 作品30の1

第1楽章: Allegro

第2楽章: Adagio

第3楽章: Allegretto con variazioni

ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 作品30の2

第1楽章: Allegro con brio

第2楽章: Adagio cantabile

第3楽章: Scherzo. Allegro

第4楽章: Finale. Allegro



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信から GPS-777 クロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。

ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは、いずれもお馴染みのものですが、なかでも第 5 番、第 9 番、第 10 番などは演奏会でよく聴く機会があります。

パールマンとアシュケナージのコンビの演奏は、これらの曲のそれぞれの表情をよく捉えています。

なお、交換した LAN iPurifier Pro は、STAGE+の配信再生で快調だったのですが、このアルバムの再生でツツツツというノイズがでました。これ以外のものの再生は問題なく、一瞬音切れが治っていないのかと思いましたが、LAN iPurifier Pro のランプは正常です。

このアルバムは Dolby Atmos のフォーマットでした。そこで STAGE+の Dolby Atmos のビットレートを調べるとどうやら 768 kbps らしいです。

注：後に Windows PC では Dolby Atmos は再生できず、ロスレス再生になることが分かりました。

DAC の Brooklyn DAC+では GPS-777 から 44.1KHz を入力しています。そこでクロックのミスマッチかと思い、外部クロック (WCK) をやめて内部クロック (INT) にしますとツツツツというノイズは収まりました。収まったところで外部クロック (WCK) に戻すとツツツツというノイズなしで再生できるようですが、再発する場合は、内部クロック (INT) にします。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、GPS-777 クロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出した結果、パールマンとアシュケナージのコンビの巧みな演奏が聴けました。今後 Dolby Atmos のフォーマットの配信には注意し、ビットレートに対応したクロックの選定を課題とします。

以上